

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年7月29日（火）

2 確認箇所

K4タンクエリア周辺（図1）

3 確認項目

- （1）K4タンクエリア外堰拡張工事及び外堰嵩上げ工事の状況
- （2）K4タンクエリアの状況

4 確認結果の概要

（1）K4タンクエリア外堰拡張工事および外堰嵩上げ工事の状況

A L P S 処理水の測定・確認用設備からの漏えいや、意図しない放出等の異常発生に備えた対策として行われているK4タンクエリア外堰拡張工事および外堰嵩上げ工事※の進捗状況を確認した。（前回確認日：令和7年5月16日）

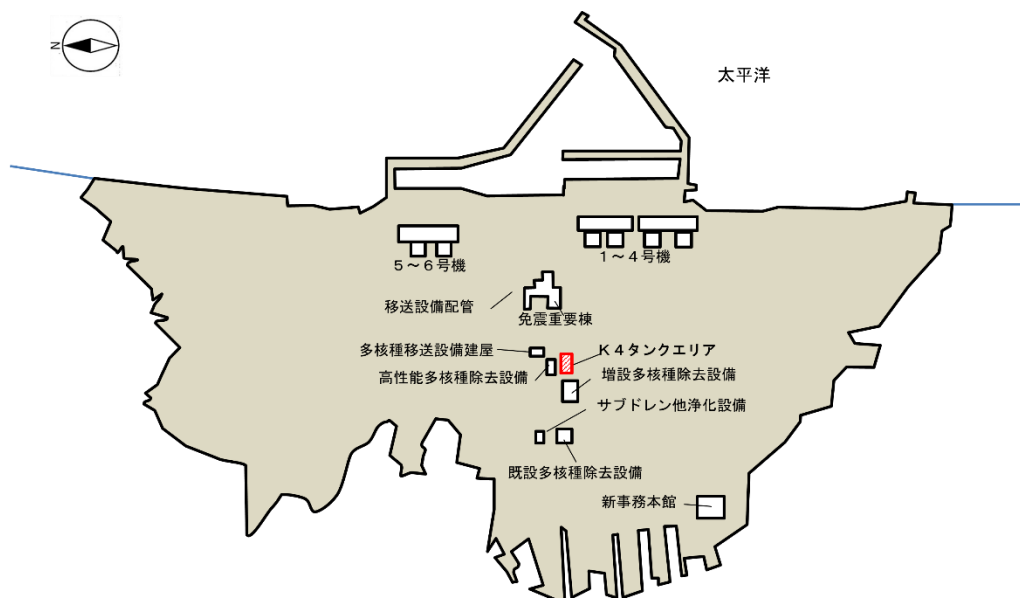
- ・外堰拡張工事は底面のコンクリート打設が完了していた。また、南及び西側面において配筋設置作業が進められていた。（写真1）
- ・外堰嵩上げ（既設外堰から45 cm）はエリア全体で完了していた。また、嵩上げされた鋼板及び固定ボルトには防水塗装が施されていた。（写真2）
- ・既設外堰（コンクリート）の接合部分は防水塗装が施されており、漏えい防止対策がなされていた。（写真3）
- ・K4タンクエリア南側は、鋼板による嵩上げはなされていたが、鋼板への防水塗装が一部分未施工だった。（写真4）

※外堰拡張工事及び外堰嵩上げ工事：地震等により、タンクとタンクを繋ぐ連結弁が破損してA L P S 処理水が大量に漏えいした場合に備え、堰の貯留可能量を増大させるための工事。A L P S 処理水希釈放出設備設置に係る事前了解に際して福島県原子力発電所安全確保技術検討会がとりまとめた8つの要求事項を受けて、東京電力が追加の安全対策として進めている。

（2）K4タンクエリアの状況

- ・確認した範囲において、K4タンクエリアの各弁から漏えいはなかった。（写真5）
- ・K4タンクエリア西側では、歩廊の設置及び配管への保温板金の設置作業がそれぞれ行われていた。（写真6、7）

- ・ K 4 タンクエリア東側では、屋根骨組の組立て作業が行われていた。（写真 8）
- ・ 各作業において、作業員は安全具を適正に装備するとともに、高所作業においてはフルハーネスを使用していた。



（図 1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真1①）外堰拡張工事の状況（西側）



（写真1②）外堰拡張工事の状況（南西側）



（写真1③）外堰拡張工事の状況（南側）



（写真2①）外堰嵩上げの状況（北西側）



(写真2②) 外堰嵩上げの状況



(写真3) 外堰接合部の防水対策



(写真4) 外堰嵩上げの状況(南側)



(写真5①) 出口弁の状況



(写真5②) 払出弁の状況



(写真5③) 入口弁の状況



(写真5④) 連結弁の状況



(写真6) 歩廊設置作業の状況



(写真 7) 保温板金設置作業の状況



(写真 8) 屋根骨組組立作業の状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。